SMART SOUNDBAR 600

安全およびセキュリティ上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。
www.Bose.com/compliance

この製品は、すべての適用される電磁両立規則2016およびその他すべての適用される英国の規制に準拠しています。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

Bose Corporationはここに、この製品が無線機器規則2017の必須要件およびその他すべての適用される英国の規制に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

安全上の留意項目

本書をよくお読みください。

お手入れは乾いた布を使用して行ってください。

通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。

修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意

この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。

⚠WARNING

- **INGESTION HAZARD:** This product contains a button cell or coin battery.
- **DEATH** or serious injury can occur if ingested.
- A swallowed button cell or coin battery can cause **Internal Chemical Burns** in as little as **2 hours.**
- **KEEP** new and used batteries **OUT OF REACH of CHILDREN**
- **Seek immediate medical attention** if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.

- 電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。
- この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻な化学薬品によるやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。
- 電池はお子様の手の届かないところに保管してください。
- 使用済みの電池であっても、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。
- 電池ケースは必ずきちんと閉めてください。電池ケースがきちんと閉まらない場合は、製品の使用をやめて電池を取り出し、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 電池が極性(＋と－)に従って正しく入れられていることを確認してください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜたり、アルカリ電池、炭素亜鉛電池、充電式電池など、異なるブランドや種類の電池を一緒に使用したりしないでください。

- 電池を飲み込んだ場合や、身体の中に入ってしまったと思った場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- 治療法については、最寄りの毒物管理センターにお問い合わせください。
- 破裂や発火、やけどなどの危険がないように、電池の交換は慎重に行い、使用が認められている電池のみを使用してください。
- 使用済みの電池は、取り外して直ちにリサイクルするか、地域の規則に従って廃棄してください。また、お子様の手の届かないところに置いてください。電池を家庭用ゴミ箱に捨てたり、焼却したりしないでください。
- 長期間使用しない機器からは電池を取り外し、直ちにリサイクルするか、地域の規制に従って廃棄してください。
- 電池の強制放電や、再充電、分解、85°C以上の加熱、焼却はしないでください。ガス漏れ、液漏れ、爆発により、怪我をしたり化学やけどを負ったりする恐れがあります。
- 非充電式電池は充電しないでください。
- 電池/バッテリータイプ: CR2032 | 公称バッテリー電圧: 3V

のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 火災や感電を避けるため、雨や水滴、飛沫、湿気などにさらされるような場所で本製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を本製品の上や近くに置かないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- インバータ電源は使用しないでください。
- 車内や船上などで使用しないでください。
- 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。
- 本製品を壁掛け設置するには、次の金具のみを使用してください: Bose Soundbar Wall Bracket
- 本製品を設置する際には、テレビやモニターの通気孔を塞がないようにしてください。テレビやモニターに付属の取扱説明書を参照し、製造元の指示に従って設置してください。
- 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
- 電池はお子様の手の届かないところに保管してください。
- 電池の取り扱いを誤ると、火災ややけどの原因となることがあります。また、分解や充電、焼却を行ったり、熱を与えたりしないでください。
- 本製品に付属の電池/バッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプの電池/バッテリーと交換したりすると、火災や爆発、化学やけどなどの原因になる恐れがあります。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つ あるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- 受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。

5150 ～ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャンネルの移動体衛星システムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ヨーロッパ向け:

運用周波数2400 ～ 2483.5 MHz、5150 ～ 5350 MHz、および5470 ～ 5725 MHz

最大送信出力20 dBm EIRP未満

運用周波数帯: 5725 ～ 5850 MHz

最大送信出力14 dBm (25mW) EIRP未満

最大送信出力が規制値を下回っているため、SARテストは不要で、適用される規制ごとに免除されます。

このデバイスを5150 ～ 5350 MHzの周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべてのEU加盟国で屋内使用に限定されています。

BE	DK	IE	UK(NI)	FR	CY	SK	HU	AT	SE
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL	
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI	

この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則

会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまでただちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

製品の電力状態

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECおよびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正) (EU離脱)規則2020に基づき、以下の規範または文書に準拠しています。Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版Regulation (EU) No. 801/2013

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機状態
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	< 0.5W	すべてのネットワークタイプ ≤ 2.0 W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	< 2.5時間	≤ 20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合の、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	N/A	≤ 2.0 W
ワイヤレスネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	**Wi-Fi®**: Boseアプリを使用して有効化します。無効化するには、リモコンのミュートボタンと*Bluetooth*ボタンを同時に長押しします。 ***Bluetooth®***: 有効化するには、リモコンの*Bluetooth*ボタンを押し、モバイル機器の*Bluetooth*リストでサウンドバーを選択するか、Boseアプリを使用して、*Bluetooth*ソースとペアリングします。無効化するには、リモコンの*Bluetooth*ボタンを10秒間長押しして、ペアリングリストを消去します。	

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
	有毒/有害物質および成分					
パーツ名	**鉛 (Pb)**	**水銀 (Hg)**	**カドミウム (Cd)**	**六価クロム (CR(VI))**	**ポリ臭化ビフェニル (PBB)**	**ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)**
PCB	X	O	O	O	O	O
金属パーツ	X	O	O	O	O	O
プラスチックパーツ	O	O	O	O	O	O
スピーカー	X	O	O	O	O	O
ケーブル	X	O	O	O	O	O
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

機器名: Powered Speaker、型式: 439269						
	制限される物質および化学記号					
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr^{+6})	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 **注2:**「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「2」は2012年または2022年です。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands | Bose de México S. de R.L. de C.V., Avenida Prado Sur #150, Piso 2, Interior 222 y 223, Colonia Lomas de Chapultepec V Sección, Miguel Hidalgo, Ciudad de México, C.P. 11000 電話番号: +5255 (5202) 3545 | Bose Limited (H.K.), 7F., No. 2, Sec. 3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist. Taipei City 10480, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, Bose House, Quayside Chatham Maritime, Chatham, Kent, ME4 4QZ, United Kingdom

入力定格: 100 ～ 240V⎓ 50/60 Hz、100W

CMIIT IDはサウンドバー背面の製品ラベルに記載されています。

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、サウンドバーの背面に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: 439269

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。

セキュリティ情報

この製品は、Boseから自動セキュリティアップデートを受信することができます。自動セキュリティアップデートを受信するには、Boseアプリで製品のセットアップを完了し、製品をインターネットに接続する必要があります。**セットアップを完了しない場合は、Boseが公開するセキュリティアップデートをお客様ご自身でインストールする必要があります。**

Amazon、Alexa、Amazon Music、およびそれらに関連するすべてのマークは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

Apple、Appleのロゴ、Apple Music、およびAirPlayはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Works with Apple AirPlayバッジの使用は、アクセサリーがバッジに記載されている技術に特化して設計され、Apple社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

Dolby、Dolby Atmos、およびダブルDマークはDolby Laboratories Licensing Corporationの商標です。この製品はDolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。Confidential unpublished works. Copyright © 2012-2021 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Google、Google Cast、およびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

HDMIおよびHDMI High-Definition Multimedia Interfaceの用語、HDMIのトレードドレス、およびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国および他の国々における商標または登録商標です。

この製品はiHeartRadioサービスに対応しています。iHeartRadioはiHeartMedia, Inc.の登録商標です。

この製品はMicrosoftの特定の知的財産権によって保護されています。Microsoftから使用許諾を受けずに、保護対象の技術をこの製品以外で使用または配布することは禁じられています。

PandoraはPandora Media, Inc.の商標または登録商標であり、許可を得て使用しています。

QuickSetは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるUniversal Electronics Inc.の登録商標です。© UEI 2000-2022

この製品にはSpotifyソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます: www.spotify.com/connect/third-party-licenses

SpotifyはSpotify ABの登録商標です。

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Bose、Bのロゴ、QuietComfort、SimpleSync、SoundLink、SoundLink Revolve、およびVoice4Videoは、Bose Corporationの商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2024 Bose Corporation.本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

Bose Smart Soundbar 600の製品コンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、次の手順を実行します。

1. リモコンの再生/一時停止ボタン ▷II と音量＋ボタン ＋ を同時に5秒間長押しします。
2. USBケーブルをサウンドバーの背面にあるSERVICE端子に接続します。
3. ケーブルのもう一方をパソコンに接続します。
4. パソコンのブラウザーウィンドウに「**http://203.0.113.1/opensource**」と入力して、エンドユーザー使用許諾契約書(「EULA」)とライセンス開示情報を表示します。

内容物の確認
内容物 13

DOLBY ATMOS® テクノロジー 14

サウンドバーの設置
推奨事項 15
サウンドバーを壁に取り付ける 16
　壁に取り付けた状態で音響特性を調整する 17

サウンドバーのセットアップ
サウンドバーを電源に接続する 18
ネットワーク待機状態 18

BOSE アプリのセットアップ
Bose アプリをダウンロードする 19

BOSE アプリを既にお使いのユーザー
既存のアカウントにサウンドバーを追加する 20
別の Wi-Fi® ネットワークに接続する 20

サウンドバーの操作
リモコンの機能 21
　電源オン/オフ 22
　自動ウェイク機能(光デジタル接続のみ) 22
　ソース機器 23
　メディアの再生と音量調節 24
音声アシスタントの操作 25
オーディオを調整する 25

AMAZON ALEXA

Amazon Alexaにアクセスする 26
音声で操作する 26
サウンドバーの操作ボタンを使用する 27
Amazon Alexaによる通話とメッセージング 28
Alexaコール・メッセージ機能のセットアップ 28
音声で操作する 28
おやすみモードの設定 29
音声で操作する 29
Bose Voice4Video™でオーディオをコントロールする 30
Voice4Video™をセットアップする 30
音声で操作する 30

GOOGLE アシスタントを操作する

Googleアシスタントにアクセスする 32
音声で操作する 32
スマートフォンを使用する 32

AIRPLAYによる音楽のストリーミング再生

コントロールセンターから音楽をストリーミング再生する 33
アプリから音楽をストリーミング再生する 33

BLUETOOTH® 接続

モバイル機器を接続する 34
モバイル機器の接続を解除する 35
モバイル機器を再接続する 35
別のモバイル機器を接続する 35
サウンドバーのデバイスリストを消去する 35

サウンドバーの状態

Wi-Fiの状態 36
*Bluetooth*の状態 36
Amazon Alexaの状態 37
　　マイクオフインジケーター 38
メディアの再生と音量の状態 38
アップデートとエラーの状態 39

高度な機能

Wi-Fi機能のオン/オフを切り替える 40

BOSE製品への接続

アクセサリー機器を接続する(オプション) 41
SimpleSync™テクノロジーによりBose SoundLink *Bluetooth* speakerまたはBose headphonesを接続する 41
　　特長 41
　　対応製品 41
　　Boseアプリを使用して接続する 42
Bose SoundLink *Bluetooth* speakerまたはBose headphonesを再接続する 42

補足事項

サウンドバーをアップデートする 43
リモコンの電池を交換する 43
サウンドバーのお手入れについて 45
交換部品とアクセサリー 45
保証 45

トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと 46
その他の対処方法 46
サウンドバーを出荷時の設定に戻す 53

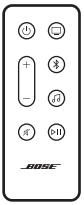
付録: セットアップガイド

接続オプション 54
サウンドバーをテレビに接続する 55
　オプション1 (推奨): HDMI eARC端子またはARC端子接続 55
　オプション2: 光デジタル接続 56
音が出ることを確認する 57

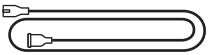
内容物

下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。

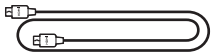
Bose Smart Soundbar 600



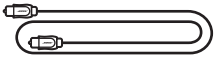
リモコン(電池付属)



電源コード*



HDMIケーブル



光ケーブル

* 電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

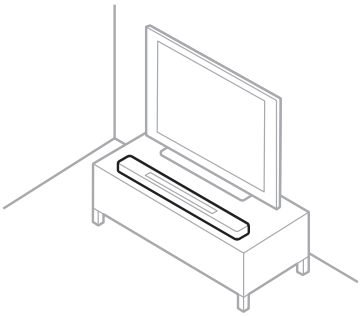
次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/SB600

Bose Smart Soundbar 600はDolby Atmos®テクノロジーに対応しています。このサウンドバーは、上向きおよび横向きのスピーカーにより、全方向から高品質なサウンドを提供し、優れた没入感と全身を包み込むようなサラウンドサウンド体験を実現します。

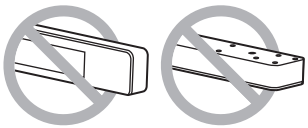
注: Dolby Atmosのサラウンドサウンド体験を実現するには、サウンドバーをテレビのHDMI eARC端子またはARC端子に接続します(55ページを参照)。お持ちのテレビにeARC端子またはARC端子がない場合は、光ケーブルを光端子に接続することで、広々とした臨場感のある音を再生できます(56ページを参照)。

推奨事項

- サウンドバーは、前面を部屋の中央に向けた状態で、テレビ前面の真下(推奨)または真上に配置します。
- 最高の音質を得るためには、サウンドバーの上部にあるスピーカー(アップファイアリングスピーカー)と側面にあるスピーカー(サイドファイアリングスピーカー)が塞がれていないことを確認してください。
- サウンドバーを壁に取り付ける場合は、サウンドバーの上部がテレビから10 cm以上離れていることを確認してください。
- サウンドバーを本棚やテレビ台などに置く場合は、最高の音質を得るために、できるだけ棚や台の前面に近づけてください。
- サウンドバーは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。
- サウンドバーは、ゴムベース面を下にして安定した水平な面に設置してください。正しく設置するには、両側の足が台の上にしっかりと載っている必要があります。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でサウンドバーの位置がずれることがあります。
- サウンドバーの背面を壁や家具などから1 cm以上離してください。開口部が塞がれると、音質が低下する恐れがあります。
- 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。
- ワイヤレス信号の干渉を回避するには、他のワイヤレス機器から30 ～ 90 cm以上離れた場所に設置します。
- 無線の干渉を回避するため、一部のWi-Fiアクセスポイントは、サウンドバー、オプションのベースモジュール、オプションのサラウンドスピーカーから最大2.4 ～ 3.0 m離して設置する必要がある場合があります。
- 最高の音質をお楽しみいただくため、サウンドバーを戸棚の中に設置したり、お部屋の角に斜めに設置したりしないでください。
- サウンドバーの上には物を置かないでください。



注意: サウンドバーの前面や背面、または天面を下にした状態で使用しないでください。

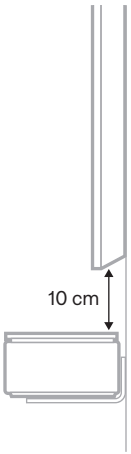


サウンドバーを壁に取り付ける

サウンドバーは壁に取り付けることができます。Bose Soundbar Wall Bracketは、お近くのBose製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めいただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/SB600

注: サウンドバーの上部がテレビから10 cm以上離れていることを確認してください。



注意: 純正以外のアクセサリーを使用してサウンドバーを設置しないでください。

壁に取り付けた状態で音響特性を調整する

最高の音質をお楽しみいただくには、サウンドバーを取り付けた後でオーディオを調整する必要があります。

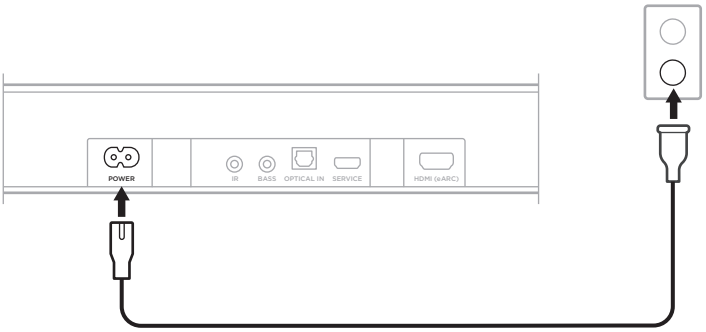
ビープ音が聞こえ、ライトバーが白で2回点滅するまで、リモコンのミュートボタン 🔇 を5秒間長押しします。

注: サウンドバーを壁から取り外した場合は、同じ操作を繰り返すと通常のオーディオ設定に戻ります。

ヒント: Boseアプリを使用して、ウォールマウント用にオーディオを調整することもできます。

サウンドバーを電源に接続する

1. 電源コードをサウンドバーの背面にある POWER 端子に接続します。
2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。



サウンドバーの電源がオンになり、ライトバーがオレンジ色に点灯します。

ネットワーク待機状態

音楽の再生を停止して20分間ボタンを操作しない、またはAmazon AlexaやGoogleアシスタント対応機器に話しかけないと、サウンドバーがネットワーク待機状態になります。

サウンドバーをネットワーク待機状態から復帰するには、次のいずれかの操作を行います。

- リモコンの電源ボタン ⏻、ソースボタン(23ページを参照)、または再生/一時停止ボタン ⏯ (21ページを参照)を押します。
- モバイル機器またはBoseアプリでオーディオを再生または再開します。
- Amazon AlexaまたはGoogleアシスタント対応機器に話しかけます。

注記:

- ネットワーク待機状態でAmazon Alexaにアクセスするには、Boseアプリ(19ページを参照)を使用してサウンドバーを設定し、マイクをオンにしておきます(38ページを参照)。
- Boseアプリを使用してスタンバイタイマーを無効にすることができます。このオプションは設定メニューから設定できます。

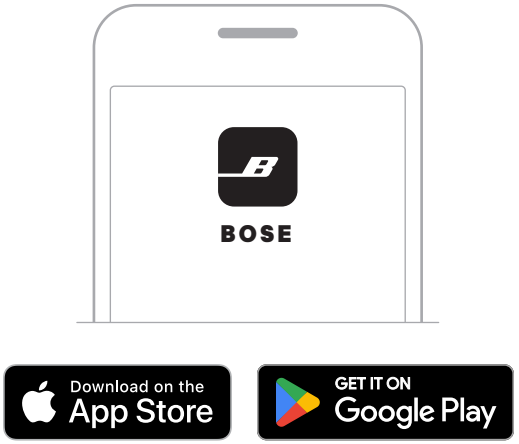
Boseアプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からサウンドバーのセットアップや操作を行うことができます。

このアプリを使用して、音楽のストリーミング再生、音楽サービスの追加、インターネットラジオ局の検索、Amazon Alexaの設定、Google Cast™の有効化、音声ガイドの言語の選択、サウンドバーの設定の管理、新機能の適用を行うことができます。

注: 別のBose製品用のBoseアカウントを既に作成してある場合は、既存のアカウントにサウンドバーを追加します(20ページを参照)。

BOSEアプリをダウンロードする

1. モバイル機器でBoseアプリをダウンロードします。



2. アプリの手順に従ってください。

既存のアカウントにサウンドバーを追加する

Bose Smart Soundbar 600を追加するには、Boseアプリを開いてサウンドバーを追加します。

別のWI-FIネットワークに接続する

ネットワーク名やパスワードを変更した場合や、他のネットワークに変更する、または追加する場合は、異なるネットワークに接続します。

1. ライトバーがオレンジに点灯するまで、ミュートボタン とBoseアプリボタン を同時に長押しします。

2. お使いのモバイル機器で、Wi-Fi設定を開きます。
3. **Bose Smart Soundbar 600**を選択します。
4. Boseアプリを開いて、アプリに表示される手順に従います。

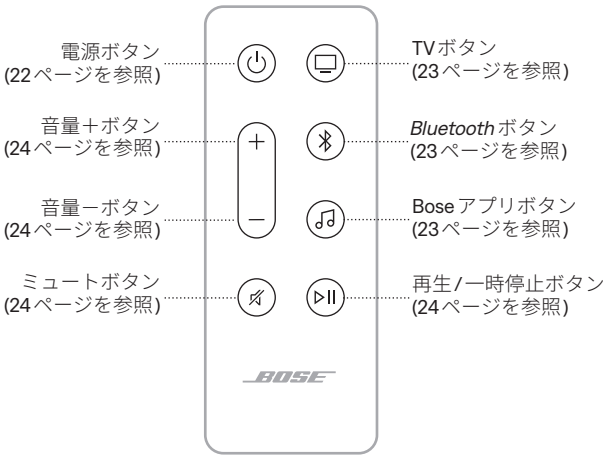
   注: アプリでセットアップ画面が表示されない場合は、メイン画面を開いてサウンドバーを追加します。

サウンドバーの操作は、サウンドバー天面のボタンとリモコンで行います。

ヒント: Boseアプリを使用してサウンドバーを操作することもできます。

リモコンの機能

リモコンを使用して、サウンドバーの操作、ソース機器の選択、*Bluetooth*接続の管理を行います。



電源オン/オフ

サウンドバーの電源をオンまたはオフにするには、リモコンの電源ボタン ⏻ を押します。

サウンドバーの電源をオンにすると、デフォルトでTVソースに設定されます。

注記:

- サウンドバーを電源コンセントに接続すると、サウンドバーの電源が自動的にオンになります。
- サウンドバーの電源がオフになっていても、Amazon Alexaにアクセスするか、Googleアシスタント対応デバイスに話しかけて、サウンドバーを操作することができます(26ページを参照)。

ヒント: Bose Voice4Video™機能とAmazon Alexaを使用して、サウンドバーの電源をオンまたはオフにすることもできます(30ページを参照)。

自動ウェイク機能(光デジタル接続のみ)

音声信号を受信するたびにサウンドバーの電源がオンになるように設定できます。

自動ウェイク機能とデフォルトの電源設定を切り替えるには、ビープ音が聞こえ、ライトバーが白で2回点滅するまで、⏻ ボタンを10秒間長押しします。

ヒント: Boseアプリを使用して、自動ウェイク機能を制御することもできます。このオプションは設定メニューから設定できます。

ソース機器

リモコンの該当するボタン(TVボタン、*Bluetooth*ボタン、またはBoseアプリボタン)を押して、ソース機器を選択します。

ヒント:

- Bose Voice4Video™機能とAmazon Alexaを使用して、*Bluetooth*接続機器を選択することもできます(30ページを参照)。
- Boseアプリを使用してソース機器を選択することもできます。

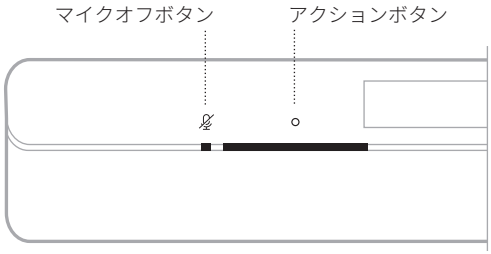
メディアの再生と音量調節

機能	操作方法
再生/一時停止	▷II ボタンを押します。 **注記:** • 一時停止すると、再生を再開するまでの間、ライトバーの中央にある2つのインジケーターが白に点灯します。 • テレビの音声を再生/一時停止することはできません。
トラック送り	▷II ボタンを続けて2回押します。
トラック戻し	▷II ボタンを続けて3回押します。
音量を上げる	＋ ボタンを押します。 **注:** 音量をすばやく上げるには、＋ ボタンを長押しします。
音量を下げる	– ボタンを押します。 **注:** 音量をすばやく下げるには、– ボタンを長押しします。
ミュート/ミュート解除	🔇 ボタンを押します。 ミュートすると、ミュート解除するまでの間、ライトバーの左端が白に点灯します。 **ヒント:** ＋ ボタンを押して、ミュート解除することもできます。

ヒント: Bose Voice4Video™機能とAmazon Alexaを使用して、特定ソースのメディアの再生と音量調節を行うこともできます(30ページを参照)。

音声アシスタントの操作

アクションボタン ○ を使用して、Amazon Alexaを操作することができます(27ページを参照)。マイクオフボタン を押すと、マイクがオフになります(27ページを参照)。



ヒント: また、音声でAmazon Alexaを操作することもできます(26ページを参照)。

オーディオを調整する

低音、高音、センターチャンネル、ハイトチャンネル、サラウンドチャンネルの調整は、Boseアプリで行います。このオプションは設定メニューから設定できます。

AMAZON ALEXAにアクセスする

サウンドバーに搭載されたAlexaを使って、生活をシンプルにして、声で音楽などをコントロールすることができます。Alexaの使い方は、質問をするだけで簡単です。「アレクサ」と呼びかけるだけで、お気に入りの曲の再生、次の曲へのスキップ、音量の変更、ニュースの読み上げなど、さまざまなことができます。サウンドバーのAlexaを使用すれば、声だけで簡単にスマートホームをコントロールできます。

Alexaでできることの詳細については、次のサイトをご覧ください:
https://www.amazon.com/usealexa

サウンドバーにAmazon Alexaを設定するには、Boseアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

注記:

- 一部の言語や国ではAlexaを利用できません。Alexaの機能や操作性は、国や地域によって異なる場合があります。
- Alexaを設定するときは、Boseアプリで使用したのと同じ音楽サービスのアカウントを必ず使用してください。
- ご家庭に複数のBose製品がある場合は、音声アシスタントをどこでも利用できるように、すべてのBose製品で1人のBoseアカウントとAmazon Alexaアカウントを使用してAlexaを設定することをお勧めします。

音声で操作する

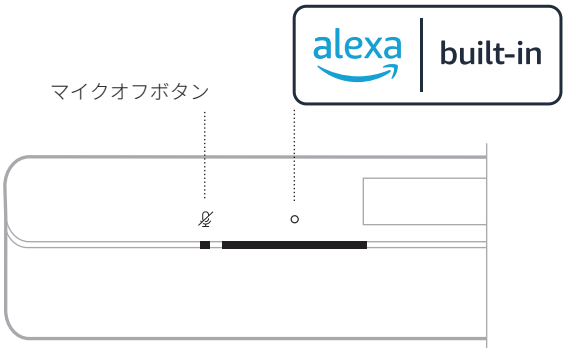
最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
Alexaに話しかける	使い方を教えて。
音楽を再生する	ロックをかけて。 **注:** Amazon Musicがデフォルトの音楽サービスとして設定されています。デフォルトの音楽サービスを変更するには、Alexaアプリを使用します。
音楽を一時停止する	一時停止。
音量を調節する	音量を上げて。
次の曲にスキップする	スキップ。
特定の音楽サービスから再生する	TuneInでNPRラジオをかけて。 (音楽サービスによってはサービスしていない国や地域があります。) **注:** Amazon Alexaがサポートしていない音楽サービスもあります。

できること	呼びかけ方の例
特定のスピーカーで再生する	キッチンでジャズをかけて。 **注:** Boseアプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。複数のスピーカーが同じ名前の場合は、Alexaアプリで設定した名前を使用するか、Boseアプリで名前を変更します。
タイマーをセットする	タイマーを15分にセットして。
他のスキルを調べる	使い方を教えて。
Alexaを停止する	ストップ。

サウンドバーの操作ボタンを使用する

アクションボタン ○ を使用して、Amazon Alexaを操作することができます。マイクオフボタン を押すと、マイクがオフになります。操作ボタンはサウンドバーの天面にあります。



できること	操作方法
Alexaに話しかける	○ ボタンを押して、リクエストを言います。 できることについては、次のサイトをご覧ください: https://www.amazon.com/usealexa
アラームやタイマーを停止する	○ ボタンを押します。

できること	操作方法
Alexaを停止する	○ボタンを押します。
マイクをオンまたはオフにする	🎙 ボタンを押します。 **注:** マイクをオフにすると、マイクオフインジケーターが赤に点灯し、Alexaにアクセスできなくなります。

AMAZON ALEXAによる通話とメッセージング

ご家庭やご家族のつながりをより良いものにします。Alexaがお使いのデバイスをインターホンにして、部屋どうしや別の家との間で双方向通話ができるようにしたり、ひとつの部屋から他の部屋にアナウンスしたりできます。またAlexaを使えば、対応するAlexaデバイスや、対応するスマートフォンやタブレットのAlexaアプリを介して、ほぼすべての人に無料で電話やメッセージを送ることができます。

注記:

- 双方がAlexa対応デバイスを持ち、Alexaコール・メッセージ機能が利用可能かつ有効であり、Alexaアプリで通話相手を許可している必要があります。
- Alexaコール・メッセージ機能を利用するには、マイクがオンになっている必要があります(38ページを参照)。

Alexaコール・メッセージ機能のセットアップ

Alexaコール・メッセージ機能をセットアップするには、Alexaアプリを使用します。

音声で操作する

最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
家庭内のデバイスに呼びかける	「キッチン」に呼びかけて。 **注:** 機器がBose製品の場合は、Boseアプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。複数のスピーカーが同じ名前の場合は、Alexaアプリで設定した名前を使用するか、Boseアプリで名前を変更します。

できること	呼びかけ方の例
他の家にいる家族や友人に呼びかける	「お母さんのキッチン」に呼びかけて。 **注:** 所有者のBoseアプリやAlexaアプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。
電話をかける	お母さんに電話して。
着信に応答する	電話に出て。
着信やメッセージを拒否する	着信拒否。
通話を終了する	通話を終了。
メッセージを再生する	メッセージを再生。
緊急連絡先に電話する	緊急連絡先に電話して。
アナウンスする	夕食が準備できたと知らせて。

おやすみモードの設定

サウンドバーへのすべての着信通知、アナウンス、通話を一時的に無効にすることができます。

音声で操作する

最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
おやすみモードを有効にする	おやすみモードオン。
おやすみモードを無効にする	おやすみモードオフ。

ヒント: Alexaアプリを使っておやすみモードを設定することもできます。

BOSE VOICE4VIDEO™でオーディオをコントロールする

Bose Voice4Video™により、Amazon Alexaの音声コントロール機能を拡張することで、他のサウンドバーでは不可能な機能が実現します。Smart Soundbarを操作するだけでなく、声だけでテレビやCATV/BS/CSチューナーを操作することができます。Alexaにリクエストを言うだけで、テレビやSmart Soundbarの電源をオンにしたり、ビデオ機器に切り替えたり、ネットワーク名やチャンネル番号で選局したり、お気に入りの番組をすぐに見始めたりすることができます。

注: Voice4Video™は、テレビ/CATV/BS/CSチューナーでのみ使用できます。

Voice4Video™をセットアップする

Voice4Video™をセットアップするには、Boseアプリを使用します。

注: Voice4Video™をセットアップする前に、BoseアプリでAlexaを設定する必要があります(26ページを参照)。

音声で操作する

最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
テレビの電源オン	テレビをつけて。
テレビの電源オフ	テレビを消して。
ビデオを再生する	再生。
ビデオを一時停止する	一時停止。
ビデオを再開する	再開。
ビデオを早送りする	早送り。
ビデオを巻き戻す	巻き戻し。
入力を*Bluetooth*オーディオに切り替える	*Bluetooth*に切り替え。
入力をHDMI TV入力に切り替える	HDMI2に切り替え。

できること	呼びかけ方の例
チャンネル名を指定して見る	NFLネットワークをつけて。
チャンネル番号を指定して見る	チャンネル802をつけて。
次のチャンネルに送る	次のチャンネル。
前のチャンネルに戻す	前のチャンネル。

GOOGLEアシスタントにアクセスする

このサウンドバーは、Google Castを使用してWi-Fiネットワークに接続されたGoogleアシスタント対応機器に対応しています。Google Castでは、音声だけで、またはスマートフォンの「キャスト」ボタンをタップするだけで、対応アプリの音声をストリーミング再生できます。Pandora、Spotify、TuneInなどの人気音楽サービスから数百万曲を選ぶことができます。

声でサウンドバーを操作するには、Googleアシスタント対応機器を使用し、BoseアプリでGoogle Castを有効にしてください。このオプションは設定メニューから設定できます。

注記:

- Google Castを使用するには、Googleアシスタント対応機器とWi-Fi接続が必要です。
- 新しいアプリのサポートは定期的に追加されます。
- 一部の言語や国ではGoogleアシスタントを利用できません。
- Googleアシスタントでできることの詳細については、次のサイトをご覧ください: https://support.google.com/assistant

音声で操作する

Googleアシスタント対応機器に「OK Google」と呼びかけるだけで、すぐに始められます。次に、<サウンドバーの名前>とリクエストを言います。

たとえば、お気に入りの音楽を再生してみましょう。「OK Google、ファミリールームでワークアウトのプレイリストをかけて」と話すだけです。

注記:

- Boseアプリで設定したサウンドバーの名前を必ず話してください。複数のサウンドバーが同じ名前の場合は、Googleアシスタントアプリで設定した名前を使用するか、Boseアプリで名前を変更します。
- Googleアシスタント対応機器が必要です。

スマートフォンを使用する

スマートフォンがリモコン代わりになります。

- 既にご利用のアプリで「キャスト」ボタンをタップするだけです。新たなログインやダウンロードは必要ありません。
- スマートフォンを使って、家中どこからでも検索、再生、一時停止、音量アップが可能です。
- ストリーミング再生中は、スマートフォンで他の操作を続けることができ、ソーシャルメディアの閲覧や、メッセージの送信、通話などが可能です。
- Google Cast対応のサウンドバーでキャストによるマルチルーム再生を使えば、家中どこでも音楽が楽しめます。

このサウンドバーはAirPlay 2オーディオの再生に対応しており、お持ちのApple製品からこのサウンドバーに音楽を簡単にストリーミング再生することができます。複数のスピーカーで再生することも可能です。

注記:

- AirPlay 2を使用するには、iOS 11.4以降を実行しているApple製品が必要です。
- Apple製品とサウンドバーは同じWi-Fiネットワークに接続されている必要があります。
- AirPlayの詳細情報については、次のサイトをご覧ください: https://www.apple.com/airplay

コントロールセンターから音楽をストリーミング再生する

1. Apple製品でコントロールセンターを開きます。
2. 画面の右上隅にあるオーディオカードを長押しして、AirPlayアイコン をタップします。
3. サウンドバーを選択します。

アプリから音楽をストリーミング再生する

1. 音楽アプリ(Apple Musicなど)を開き、再生する曲を選択します。
2. をタップします。
3. サウンドバーを選択します。

モバイル機器を接続する

1. リモコンの*Bluetooth*ボタンを押します。

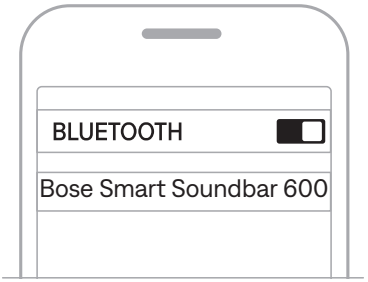
ライトバーが青に点滅します。

2. モバイル機器の*Bluetooth*機能をオンにします。

注: 通常、*Bluetooth*メニューは設定メニューにあります。

3. デバイスリストからお使いのサウンドバーを選択します。

注: Boseアプリでサウンドバーに付けた名前を探してください。サウンドバーに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



接続すると、ビープ音が聞こえ、ライトバーが白に点灯してから次第に消灯します。モバイル機器のリストにサウンドバーの名前が接続済みと表示されます。

モバイル機器の接続を解除する

モバイル機器の接続を解除するには、Boseアプリを使用します。

ヒント: モバイル機器の*Bluetooth*設定を使用することもできます。*Bluetooth*機能を無効にすると、他の機器との接続もすべて解除されます。

モバイル機器を再接続する

リモコンの*Bluetooth*ボタン ᛒ を押します。

サウンドバーは、最後に接続していた機器に自動的に再接続します。

注記:

- モバイル機器の*Bluetooth*機能が有効であることを確認します。
- 機器との距離が9 m以内で、電源がオンになっている必要があります。

別のモバイル機器を接続する

サウンドバーのデバイスリストには、機器を最大8台記憶できます。

注: ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。

1. ライトバーが青に点滅するまで、リモコンの ᛒ ボタンを長押しします。
2. モバイル機器で、デバイスリストから本製品を選択します。

   注: モバイル機器の*Bluetooth*機能が有効であることを確認します。

サウンドバーのデバイスリストを消去する

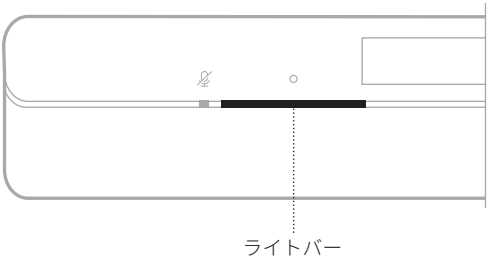
1. ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンの ᛒ ボタンを10秒間長押しします。

   ライトバーが青に点滅します。

2. 機器の*Bluetooth*リストからサウンドバーを削除します。

   すべての機器が消去され、サウンドバーが新しい機器と接続可能な状態になります(34ページを参照)。

サウンドバーの前面にあるLEDライトバーには、サウンドバーの状態が表示されます。



注: ライトバーには1つの選択機器の状態のみ表示されます。

WI-FIの状態

サウンドバーのWi-Fi接続の状態を示します。

ライトバーの状態		システムの状態
白の点滅		Wi-Fiに接続中
白に点灯してから次第に消灯		Wi-Fiに接続しました

*BLUETOOTH*の状態

モバイル機器の*Bluetooth*接続の状態を示します。

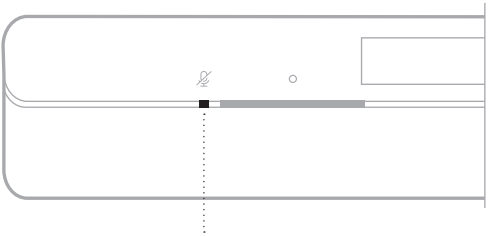
ライトバーの状態		システムの状態
青の点滅		モバイル機器に接続できます
白の点滅		モバイル機器に接続中
白に点灯してから次第に消灯		モバイル機器に接続しました
白のライトが2回点滅してから消灯		デバイスリストを消去中

AMAZON ALEXAの状態

Amazon Alexaの状態を示します。

ライトバーの状態		システムの状態
オフ		Amazon Alexaはアイドル状態です
白のライトが中央に移動して点灯		Amazon Alexaがリクエストを待っています
白のライトが両端に移動		Amazon Alexaが考えています
白の点滅(フル)		Amazon Alexaが話しています
黄色の点滅		Amazon Alexaから通知があります
白に点灯してから白のライトが両端に移動		Amazon Alexaからアラートがあります
緑の点滅		着信中またはコール中です
緑の点灯		通話がつながりました **注:** 通話が切断されると、ライトバーが次第に消灯します。
紫に点灯してから次第に消灯		「おやすみモード」が有効です **注:**「おやすみモード」を有効にすると、Alexaに話しかけるたびにライトバーが紫に点滅します。

マイクオフインジケーター



マイクオフインジケーター

インジケーターの状態	システムの状態
赤の点灯	マイクがオフです

メディアの再生と音量の状態

メディアの再生と音量を操作しているときのサウンドバーの状態を示します。

ライトバーの状態		システムの状態
中央の2つのライトが白で点灯		一時停止
ライトバーの右端が白で点滅		音量を上げる
ライトバーの左端が白で点滅		音量を下げる
ライトバーの左端が白で点灯		ミュート

アップデートとエラーの状態

ソフトウェアのアップデート状態とエラーの警告を示します。

ライトバーの状態		システムの状態
オレンジの点灯		Wi-Fiセットアップ中
白のライトが右から左へ移動		アップデートをダウンロードしています
白のライトが左から右へ移動		サウンドバーをアップデートしています
赤の4回点滅		一時的にリクエストが受け付けられません。後でやり直してください
赤の点灯		エラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

WI-FI機能のオン/オフを切り替える

ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンのミュートボタン と*Bluetooth*ボタン を同時に長押しします。

アクセサリー機器を接続する(オプション)

以下のアクセサリー機器をサウンドバーに接続することができます。詳細については、アクセサリー機器の取扱説明書をご覧ください。

- **Bose Bass Module 700**: Bose.com/BM700
- **Bose Bass Module 500**: Bose.com/BM500
- **Bose Surround Speakers 700**: Bose.com/SS700
- **Bose Surround Speakers**: Bose.com/SS

SIMPLESYNC™ テクノロジーによりBOSE SOUNDLINK *BLUETOOTH* SPEAKERまたはBOSE HEADPHONESを接続する

Bose SimpleSync™テクノロジーにより、一部のBose SoundLink *Bluetooth* speakerまたはBoseヘッドホンをサウンドバーに接続して、新しい方法で音楽や映画を楽しむことができます。

特長

- **テレビの音をヘッドホンで楽しむ**: Boseヘッドホンをサウンドバーに接続して、他の人に迷惑をかけずにテレビの音を聴くことができます。製品ごとの音量を個別に調節できるので、ヘッドホンの音量はそのままにして、サウンドバーの音量を下げたりミュートしたりできます。
- **別の部屋で音楽を同時に楽しむ**: Bose SoundLink *Bluetooth* speakerをサウンドバーに接続して、同じ曲を2つの部屋で同時に聴くことができます。

  注: SimpleSync™テクノロジーは、最大9 mの*Bluetooth*通信範囲内で機能します。壁や建材の種類によって受信状態が変わる場合があります。

対応製品

ほとんどのBose SoundLink *Bluetooth* speakersとBoseヘッドホンをサウンドバーに接続できます。

対応製品の例:

- Bose SoundLink Revolve+ *Bluetooth* speaker
- Bose SoundLink Mini *Bluetooth* speaker
- Bose SoundLink Micro *Bluetooth* speaker
- Bose SoundLink Flex *Bluetooth* speaker
- Bose Noise Cancelling Headphones 700
- Bose QuietComfort 35 wireless headphones
- Bose QuietComfort 45 headphones

新しい製品も随時追加されます。全製品のリストと詳細については、次のサイトをご覧ください。support.Bose.com/Groups

Boseアプリを使用して接続する

Bose SoundLink *Bluetooth* speakerまたはBoseヘッドホンを接続するには、Boseアプリを使用します。詳しくは、次のサイトをご覧ください:
support.Bose.com/Groups

注記:

- 接続する製品の電源がオンになっていて、サウンドバーから9 m以内にあり、他のデバイスに接続できる状態になっていることを確認してください。詳細については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。
- サウンドバーと一度に接続できる製品は1台だけです。

BOSE SOUNDLINK *BLUETOOTH* SPEAKERまたはBOSE HEADPHONESを再接続する

Boseアプリを使用して、以前に接続していたBose製品にサウンドバーを再接続できます。

注: サウンドバーが通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。

サウンドバーをアップデートする

Boseアプリでセットアップを完了し、サウンドバーをWi-Fiネットワークに接続すると、サウンドバーは自動的にアップデートされます。

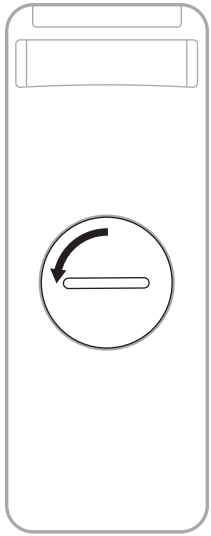
リモコンの電池を交換する

⚠WARNING

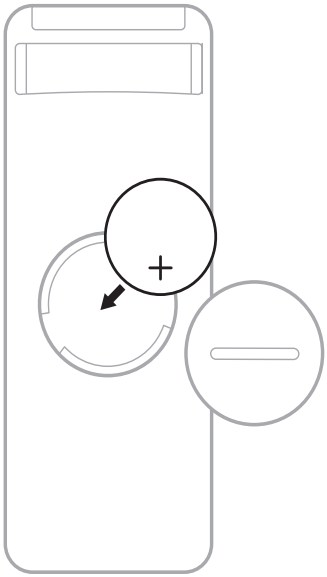
- **INGESTION HAZARD:** This product contains a button cell or coin battery.
- **DEATH** or serious injury can occur if ingested.
- A swallowed button cell or coin battery can cause **Internal Chemical Burns** in as little as **2 hours.**
- **KEEP** new and used batteries **OUT OF REACH of CHILDREN**
- **Seek immediate medical attention** if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.

注: 詳しくは、「警告/注意」(2ページ)をご覧ください。

1. 硬貨などを使用して、電池カバーを左(反時計回り)に回し、カバーを取り外します。



2. ＋極の表示がある平らな面を上に向けて、新しい電池を装着します。



注: 法令（ULなど）に準拠した3Vリチウムボタン電池(CR2032またはDL2032)を使用してください。

3. カバーを元に戻し、右(時計回り)に回してロックします。

サウンドバーのお手入れについて

サウンドバーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

注意:

- サウンドバーの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。
- アップファイアリングスピーカーやサウンドバーに空気を吹き付けないでください。
- アップファイアリングスピーカーやサウンドバーに掃除機をかけないでください。
- アップファイアリングスピーカーやサウンドバーの近くでスプレーを使用しないでください。
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、Bose製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/SB600

保証

製品保証の詳細はworldwide.Bose.com/Warrantyをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

最初にお試しいただくこと

サウンドバーに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- サウンドバーが接続されているコンセントに電源が供給されていることを確認します。
- すべてのケーブルをしっかりと接続します。
- サウンドバーの状態を確認します(36ページを参照)。
- Boseアプリをダウンロードし、セットアップを完了して、入手可能なソフトウェアのアップデートがサウンドバーにダウンロードされるのを待ちます。
- 設置ガイドに沿ってサウンドバーを設置します(15ページを参照)。
- サウンドバーが正しく動作するように、モバイル機器の推奨通信範囲内へ移動します。
- サウンドバーはワイヤレス機器から30 ～ 90 cmほど離して設置します。
- Wi-Fiアクセスポイントが、サウンドバー、オプションのベースモジュール、オプションのサラウンドスピーカーから最大2.4 ～ 3.0 m離して設置されていることを確認します。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

症状	対処方法
テレビにeARC端子がない	テレビのHDMI ARC端子を使用します。 お持ちのテレビにHDMI ARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーとテレビを接続します。
テレビにHDMI eARC端子、HDMI ARC端子、光デジタル音声端子がない	テレビがCATV/BS/CSチューナーに接続されている場合は、サウンドバーからCATV/BS/CSチューナーにHDMIケーブルを接続します。 同軸デジタルケーブル、3.5 mmステレオ音声ケーブル、アナログ - ステレオケーブルなどを使用して、オーディオコンバーターを介してテレビを接続します(別途ご購入ください)。必要なコンバーターとケーブルの種類は、お持ちのテレビで使用できる音声出力端子の種類によって異なります。
サウンドバーの電源が入らない	電源ケーブルを別のコンセントに差し込みます。 リモコンを使用してサウンドバーの電源をオンにします(21ページを参照)。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。

症状	対処方法
サウンドバーの電源がオフにならない	サウンドバーがネットワーク待機状態になっている可能性があります。リモコンの電源ボタン ⏻ を押して、サウンドバーをアクティブにします。もう一度電源ボタン ⏻ を押して、サウンドバーの電源をオフにします。
Dolby Atmosで音声が再生されない	サウンドバーがテレビのHDMI eARC端子またはARC端子に接続されていることを確認します。 Boseアプリの「再生中」画面をチェックして、Dolby Atmosでストリーミングされていることを確認します。Dolby Atmosでストリーミングされていない場合は、テレビの詳細な音声設定でDolby Atmosがサウンドバーにパススルーされているかどうかを確認してください。テレビの取扱説明書をご覧ください。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	電池を交換します(43ページを参照)。 リモコンがサウンドバーの操作可能範囲内(6m以内)にあることを確認します。 リモコンとサウンドバーの間に障害物がないことを確認します。
モバイル機器でBoseアプリが動作しない	お使いのモバイル機器がBoseアプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、モバイル機器のアプリストアをご参照ください。 モバイル機器でBoseアプリをアンインストールしてから、アプリを再インストールします(19ページを参照)。
別のBoseアカウントに追加する際にサウンドバーが表示されない	Boseアプリを使用して、サウンドバーの共有が有効であることを確認します。 サウンドバーとモバイル機器が同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。
サウンドバーとソース機器の電源を同時にオン/オフできない	電源ボタン ⏻ を押して、ソース機器の電源をオン/オフします。

症状	対処方法
サウンドバーの音が途切れる、聞こえない	サウンドバーの音量(24ページを参照)またはモバイル機器の音量を上げます。 ライトバーの左端が白く点灯している場合、サウンドバーはミュートされています。ミュートボタン を押して、サウンドバーをミュート解除します。 お使いのモバイル機器がミュートされていないことを確認します。 対応している*Bluetooth*モバイル機器を使用していることを確認します。 モバイル機器を再起動します。 オーディオソースを再起動します。 別のソースに切り替えてみます(23ページを参照)。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 Wi-Fiソースからのオーディオの場合は、ルーターをリセットします。 テレビを再起動します。 テレビのオーディオ設定を確認します。テレビの取扱説明書をご覧ください。 テレビのソフトウェアを更新します。テレビの取扱説明書をご覧ください。 サウンドバーのHDMIケーブルをテレビのHDMI eARC (またはARC)端子から取り外して、再度接続します。 サウンドバーのHDMIケーブルがテレビのHDMI **e**ARC (Enhanced Audio Return Channel)と表示されている端子に接続されていることを確認します。標準HDMI端子には接続しないでください。テレビにHDMI eARC端子がない場合は、HDMI ARC端子に接続します。テレビにARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーを接続します(56ページを参照)。 サウンドバーがテレビのHDMI eARC (またはARC)端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューで**Consumer Electronics Control (CEC)**機能が有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。テレビの取扱説明書をご覧ください。 サウンドバーをテレビの光端子に接続している場合は、光デジタルケーブルがテレビの音声出力(**Output**または**OUT**)端子に接続されていることを確認します。音声入力(InputまたはIN)には接続しないでください。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。 BoseアプリのAdvanced CEC設定を確認します。このオプションは設定メニューから設定できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/SB600_CEC
サウンドバーとベースモジュールまたはサラウンドスピーカーを接続できない	トラブルシューティングについては、ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの取扱説明書をご覧ください(41ページを参照)。 ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーがサウンドバーに対応していることを確認します(41ページを参照)。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、電源コンセントにしっかりと差し込みます。

症状	対処方法
ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーから音が聞こえない	ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーがサウンドバーに対応していることを確認します(41ページを参照)。 Boseアプリでソフトウェアが最新のものであることを確認します。 Boseアプリを使用して低音を調整します(25ページを参照)。 別のソースに切り替えてみます(23ページを参照)。
テレビから音が出る	サウンドバーのHDMIケーブルがテレビのHDMI **e**ARC (Enhanced Audio Return Channel)と表示されている端子に接続されていることを確認します。標準HDMI端子には接続しないでください。テレビにHDMI eARC端子がない場合は、HDMI ARC端子に接続します。テレビにARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーを接続します(56ページを参照)。 サウンドバーのHDMIケーブルをテレビのHDMI eARC (またはARC)端子から取り外して、再度接続します。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、電源コンセントにしっかりと差し込みます。 テレビの内蔵スピーカーをオフにします。テレビの取扱説明書をご覧ください。 テレビの音量を最小に設定します。 サウンドバーがテレビのHDMI eARC (またはARC)端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューで**Consumer Electronics Control (CEC)**機能が有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。テレビの取扱説明書をご覧ください。 BoseアプリのAdvanced CEC設定を確認します。このオプションは設定メニューから設定できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/SB600_CEC
音質が良くない、音が歪む	別のソース機器で試してみます(可能な場合)。 テレビがサラウンドサウンド出力に対応していることを確認します。テレビの取扱説明書をご覧ください。 別の機器からオーディオが再生されている場合は、その機器の音量を下げます。 Boseアプリを使用して低音を調整します(25ページを参照)。 テレビの内蔵スピーカーをオフにします。テレビの取扱説明書をご覧ください。 音が出ることを確認します(57ページを参照)。

症状	対処方法
サウンドバーで正しいソース機器からの音が再生されない、またはしばらくしてから正しくないソース機器に切り替わる	Boseアプリの Advanced CEC設定を確認します。このオプションは設定メニューから設定できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/SB600_CEC ソース機器のCEC機能を無効にします。接続機器の取扱説明書をご覧ください。
サウンドバーをWi-Fiネットワークに接続できない	Boseアプリで、正しいネットワーク名を選択して、ネットワークのパスワードを入力します(大文字と小文字を区別して入力してください)。 サウンドバーとモバイル機器が同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。 ネットワークの設定情報を変更した場合は、20ページをご覧ください。 セットアップに使用するモバイル機器のWi-Fi機能を有効にします。 モバイル機器で開いている他のアプリケーションを終了します。 モバイル機器とルーターを再起動します。 ルーターが2.4 GHz帯と5 GHz帯の両方に対応している場合は、機器(モバイル機器やパソコン)とサウンドバーが同じ周波数帯を使用して接続していることを確認します。 **注:** 各周波数帯に固有の名前を付けて、正しい周波数帯に接続していることを確認してください。 ルーターをリセットします。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、電源コンセントにしっかりと差し込みます。モバイル機器でBoseアプリをアンインストールして再インストールし、セットアップをやり直します。 別のネットワークに接続し、アプリでセットアップ画面が表示されない場合は、メイン画面を開いてサウンドバーを追加します。
サウンドバーを*Bluetooth*機器に接続できない	モバイル機器の*Bluetooth*機能をオフにしてから、オンにします。*Bluetooth*リストからサウンドバーを削除します。もう一度接続してみます(34ページを参照)。 別のモバイル機器と接続して試してみてください(34ページを参照)。 対応している*Bluetooth*モバイル機器を使用していることを確認します。次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/SB600_BT モバイル機器の*Bluetooth*リストからサウンドバーを削除します。もう一度接続してみます(34ページを参照)。 サウンドバーのデバイスリストを消去します(35ページを参照)。もう一度接続してみます(34ページを参照)。

症状	対処方法
AirPlayを使用して音楽をストリーミング再生できない	サウンドバーの電源がオンになっていて、通信範囲内にあることを確認します(22ページを参照)。 Apple製品とサウンドバーが同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。 Apple製品をアップデートします。 サウンドバーが最新の状態であることを確認します(43ページを参照)。 ストリーミング再生する音楽アプリでAirPlayアイコン が見つからない場合は、コントロールセンターから音楽をストリーミング再生してください。 その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください: https://www.apple.com/airplay
Alexaが反応しない	マイクオフインジケーターが赤に点灯していないことを確認します。マイクをオンにするには、27ページをご覧ください。 AlexaがBoseアプリを使用して設定されていることを確認します(26ページを参照)。 **注:** Boseアプリを使用してサウンドバーを設定し、Wi-Fiネットワークに接続する必要があります。 モバイル機器をWi-Fiに接続します。 Amazon Alexaが利用可能な国にいることを確認します。 最新バージョンのAlexaアプリを使用していることを確認します。 お使いのモバイル機器が対応していることを確認します。 音声による起動が有効であることを確認します(26ページを参照)。 Boseアプリを使用して、サウンドバーからAlexaを削除します。もう一度Alexaを追加します。 Boseアプリで設定した名前を言っていることを確認します。複数のサウンドバーが同じ名前の場合は、Alexaアプリで設定した名前を使用するか、Boseアプリで名前を変更します。 Bose Voice4Video™を使用している場合: • サウンドバー、テレビ、CATV/BS/CSチューナーの間に障害物がないことを確認します。 • サウンドバーがHDMIケーブルで接続されていることを確認します(55ページを参照)。 • Boseアプリを使用してこの機能を設定し、テレビやCATV/BS/CSチューナーが接続されていることを確認します。 • 郵便番号とCATV/BS/CSチューナーのサービスプロバイダが入力されていることを確認します。 Alexaがリクエストをサポートしていない場合があります。新しい機能も随時追加されます。 その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください: https://www.amazon.com/usealexa

症状	対処方法
Googleアシスタントでサウンドバーを操作できない	Googleアシスタント対応機器がネットワークに接続されていることを確認します(32ページを参照)。 Boseアプリで Google Castを有効にしていることを確認します(32ページを参照)。 モバイル機器をWi-Fiに接続します。 Googleアシスタントが利用可能な国にいることを確認します。 最新バージョンのGoogleアシスタントアプリを使用していることを確認します。 お使いのモバイル機器が対応していることを確認します。 その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください: https://support.google.com/assistant
サウンドバーとBose SoundLink *Bluetooth* speakerまたはBoseヘッドホンを接続できない	スピーカーやヘッドホンの電源がオンになっていて、サウンドバーから9 m以内にあり、他のデバイスに接続できる状態になっていることを確認してください。詳細については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。
以前にされていたBose SoundLink *Bluetooth* speakerまたはBose headphonesとサウンドバーを再接続できない	Boseアプリを使用して接続します(19ページを参照)。
接続したBose SoundLink *Bluetooth* speakerやBoseヘッドホンからの音質が悪い	ルーターが2.4 GHzと5 GHzの両方の周波数に対応しており、サウンドバーが2.4 GHz帯に接続されている場合は、5 GHz帯に接続してください。 一部のBose SoundLink *Bluetooth* speakerでは、サウンドバーに接続して完璧に同期した状態でオーディオを再生できない場合があります。お使いの製品が対応しているかどうかを確認するには、次のサイトをご覧ください。 support.Bose.com/Groups Boseアプリで「グループと同期」を有効にしていることを確認します(19ページを参照)。このオプションは設定メニューから設定できます。 スピーカーやヘッドホンのソフトウェアアップデートがあればインストールします。アップデートを確認するには、モバイル機器で製品に該当するBoseアプリを開くか、パソコンからbtu.Bose.comにアクセスします。

サウンドバーを出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すと、サウンドバーのソース、音量、ネットワーク設定がすべて消去され、サウンドバーが初期設定に戻ります。

1. ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンの音量ーボタン ー と再生/一時停止ボタン ▷II を同時に5秒間長押しします。

   サウンドバーが再起動します。リセットが完了すると、ライトバーがオレンジ色に点灯します。

2. サウンドバーのネットワーク設定およびオーディオ設定を復元するには、モバイル機器でBoseアプリを起動し、サウンドバーをネットワークに追加します(「既存のアカウントにサウンドバーを追加する」(20ページ)を参照)。

接続オプション

以下の接続オプションからどちらかを選択して、テレビとサウンドバーを接続します。

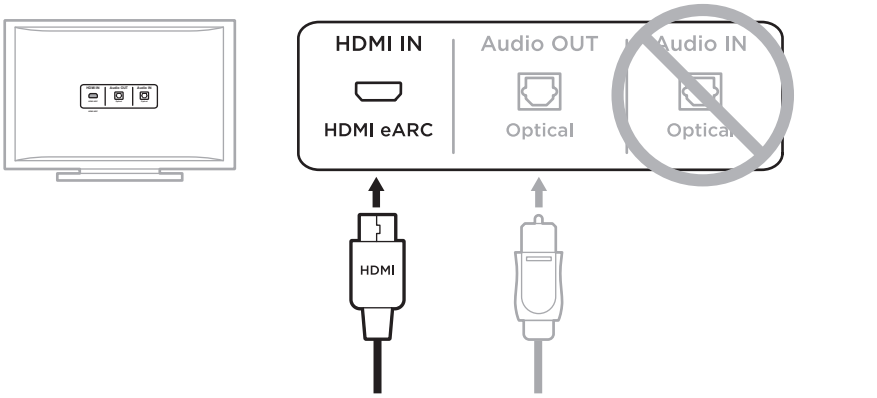
- **オプション1 (推奨)**: HDMI eARC (Enhanced Audio Return Channel)またはARC端子接続
- **オプション2**: 光デジタル接続

注記:

- Dolby Atmosのサラウンドサウンド体験を実現するには、サウンドバーをテレビのHDMI eARC端子またはARC端子に接続します(55ページを参照)。お持ちのテレビにeARC端子またはARC端子がない場合は、光ケーブルを光端子に接続することで、広々とした臨場感のある音を再生できます(56ページを参照)。
- テレビのリモコンでサウンドバーの電源、音量、ミュート機能を操作するには、サウンドバーがテレビのHDMI eARC端子またはARC端子に接続されている必要があります。

1. テレビの背面にある**HDMI IN**端子および**Audio OUT** (光デジタル)端子を探します。

   注: お使いのテレビによっては、端子パネルが図と異なる場合があります。端子の形状で確認してください。



オプション1(推奨)
HDMI eARC (またはARC)端子接続: この接続にはHDMIケーブルを使用します。

オプション2
光デジタル接続: お持ちのテレビにHDMI eARC (またはARC)端子がない場合は、この接続には光デジタルケーブルを使用します。

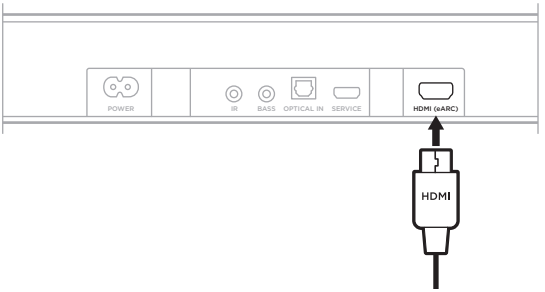
2. 音声ケーブルを選択します。

サウンドバーをテレビに接続する

音声ケーブルを選択したら、サウンドバーとテレビを接続します。

オプション1(推奨): HDMI eARC端子またはARC端子接続

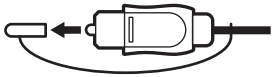
1. HDMIケーブルのプラグをテレビの**HDMI eARC**端子または**ARC**端子に接続します。
2. ケーブルの反対側を、サウンドバーの**HDMI (eARC)**端子に差し込みます。



オプション2: 光デジタル接続

お持ちのテレビにHDMI eARC (またはARC)端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーとテレビを接続します。

1. 光ケーブル両端のプラグから保護キャップを取り外します。



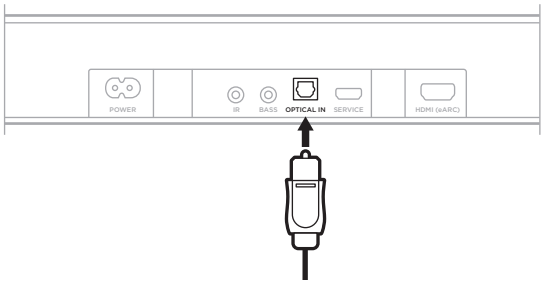
注意: キャップを付けたままプラグを差し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

2. 光ケーブルのプラグをテレビの**OPTICAL OUT** (光デジタル音声出力)端子に接続します。

注意: プラグの向きを間違えて差し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

3. 光ケーブルの反対側のプラグを持ちます。

4. プラグの向きをサウンドバーの**OPTICAL IN**端子に合わせて、慎重に差し込みます。



注: 端子にはカバーが付いていて、プラグを差し込むとカバーが開きます。

5. カチッと言う音が聞こえるか、指先に感触があるまでプラグをしっかり差し込みます。

音が出ることを確認する

1. テレビのリモコンでテレビの電源をオンにします。
2. テレビのメニューのオーディオ設定で、テレビのスピーカーをオフにします。

   注: 詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
3. CATV/BS/CS用チューナーやその他の外部機器を使用する場合:
   a. ソース機器の電源をオンにします。
   b. テレビの入力を正しく選択します。
4. サウンドバーの電源をオンにします(22ページを参照)。

   ソース機器の音がサウンドバーから聞こえます。
5. サウンドバーのリモコンのミュートボタン 🔇 を押します。

   テレビの内蔵スピーカーやサウンドバーから音が聞こえなくなります。

注: サウンドバーをミュートした後でテレビのスピーカーから音が聞こえている場合は、「テレビから音が出る」(49ページ)をご覧ください。

©2024 Bose Corporation, 100 Mountain Road, Framingham, MA 01701-9168 USA
AM877935-0010 Rev. 04